

筑波大学新聞

第263号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会
委員長 中村紀一

TEL: 029(853)2040・6699
E-mail
shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

グローバルCOE採択「HAL」関連1件2
アートイベント 病院にフェルトの森5
ハロー先端科学 湯川理論検証に成功7
柔道ユニバ 福見初の学生世界1
宇宙工学研究会 国際大会で4位入賞
3A棟改修 食堂利用者2千人に影響11109

特集 6,7
筑波大で歩む第2の道
学びの転換点に迫る

ニニ特集 3
つくばを知る
研究学園都市研究

宿舎改修

平砂から17年計画で

WSで新棟建設後、古い棟から

施設計画室の学生宿舎改善計画ワーキンググループ（WG、主査＝小場瀬令二教授・社マ）は、7月3日に「学生宿舎の改善と寄宿料の値上げに関するワークショップ」（WS）を開催し、検討中の学生宿舎リニューアル計画の内容や寄宿料の改定額について説明した。スケジュールについては、改修する棟の分の人数を収容するため、新棟を建設することしており、最も早い場合で平成20年の着工を計画している。

改修は早ければ平成22年の新棟完成後に平砂6・7号棟から始める。基本的に古い棟から改修し、平砂、追越、一の矢、春日の順に改修する。同WGによると、全棟の改修に17年かかる。

これにより、一般単身用の寄宿料は6700円、一般世帯用は9500円から1万6100円となる。WSの参加者からは「家族連れの留学生には負担となるのでは」という意見が出た。

またWSでは、学生生活課から「来年度4月からの運用を目指し、今年度中に工事を行い、学生宿舎に有線によるネットワーク環境を構築する。全居室内でインターネットに接続できる環境を整備することにより、学習環境の向上が期待できる」と、新しいネットワークサービスの内容が明らかにされた。

WSで課題となったのが、いかに学生への宿舎リニューアル計画の周知に取組むか、ということだった。WSの開催は今回で2回目。昨年12月13日に開催

の居室について、「いくらくらの寄宿料なら入居を希望するか」という設問への回答では、学群男子で平均1万1000円、同女子1万6000円、院生男子1万6500円、同女子1万2500円となった。WG主査の小場瀬教授は「今後はWGで値段を詰めていく。学生にとってリアルな寄宿料にすることが重要だ」と語った。

WSで課題となったのが、いかに学生への宿舎リニューアル計画の周知に取組むか、ということだった。WSの開催は今回で2回目。昨年12月13日に開催

が課題となる。今回のWSの参加者が少なかつたため、急きょ3回目のWSを開催することとし、次回のWSは9月10日の午後6時半から平砂食堂で開催する。

学生生活課の高岡利嗣課長補佐は「宿舎全室に通知を配布するなど、次回のWSへ向けて周知を徹底させている。モデルルームの公開も来場者がある限り行う。学生の意見聴取に努め、参考になりたい」と語った。

特色GP採択

本学から「チーム医療」プロ

医学群の3学類が連携

文部科学省が進める「特色ある大学教育支援プログラム」（「特色GP」）の今年度の選考結果が8月7日、発表された。「教育課程の工夫改善を主とする取組」で、医学群の3学類が連携

り組んで、医学群の「チーム医療実践力」育成プログラム（「特色GP」）の今年度の選考結果が8月7日、発表された。「教育課程の工夫改善を主とする取組」で、医学群の3学類が連携

た。本学の採択は4回目。『チーム医療実践力』育成プログラムは、将来高いレベルでチーム医療を実践できる医師の養成を目指した体験型教育プログラム。これまで医師と看護師、医療技術者の教育は、求められる能力や履修年限などが異なるため、それぞれ独立して行われていた。この取り組みでは、実際の現場で必要となるチーム医療を学ぶために、医学群の3学類（医学類・看護学類・医療科学類）が連携して、ベッサイドでの実習や、デイスカッションなどを行う。3年間で約5000万円の予算が配分される。

学群改組・再編前の医学専門学群では、03年度の特色GPに先進的な医学教育を推進する支援システム、06年度の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」（「現代GP」）に地域ヘルスプロモーションプログラムが採択されていた。度で終了する予定だ。

「教育方法の工夫改善」「上記以外の工夫改善」に関する3つ。今年度の予算は約31億円。応募は各大学1件に限られた。文科省による特色GPの公募は、「大学教育改革の支援の充実」事業の見直しのため、今年度で終了する予定だ。

改革元年

学群改組を追う

本学の開学以来、教育上の柱にある「学際性」。他学類の授業が取りやすい制度など、他大学にはない特徴がある。しかし、果たして本学は学際的な教育が行われていると実感しているのだろうか。

開設授業の中で唯一「学際」の名を冠している『学際研究法概説』比文開設の履修者17人を対象に、本紙が独自アンケートを行った。「本学生として、『学際教育』

が行われていると思うか」という問いに対し「他分野にわたって科目履修できる」「広範囲にわたる分野を学ぶ」といった回答が多かった一方、「行われている」という実感はない。「そもそも学際教育とは何かがわからない」といった記述もあった。

「学際研究法概説」の担当教員の宮本陽一郎教授（文言）は「単に規制緩和を行って、たくさん授業を開設したからとい

って、それは学際的とは言えない。学際教育には核となる問題意識が必要」と語る。では、学際性とは何なのか。

現代的なテーマを中心にした学際教育の好例が、本学には二つある。一つは今年6月にグローバルCOEに採択された、山海亭之教授（知機）のサイバニクスプログラムだ。

山海教授が開発した世界的に有名なロボットスーツ「HAL」。しかし、現代的なテーマを核に、

「学際性」核は現代社会の諸問題に時代に切り込む手段に

一つは今年6月にグローバルCOEに採択された、山海亭之教授（知機）のサイバニクスプログラムだ。

独自の博士後期課程「サイバニクス専修プログラム」を立ち上げ、さまざまな切り口からロボットの技術について学ぶシステムを作る。「ロボットと人間社会の融合」という

現代的なテーマを核に、

多くの分野の院生が関わるようになった事例だ。もう一つは、平成19年度の文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」（「現代GP」）に地域ヘルスプロモーションプログラムが採択されていた。度で終了する予定だ。

「教育方法の工夫改善」「上記以外の工夫改善」に関する3つ。今年度の予算は約31億円。応募は各大学1件に限られた。文科省による特色GPの公募は、「大学教育改革の支援の充実」事業の見直しのため、今年度で終了する予定だ。

「無党派層は寝ていてくれればいい」。7年前の総選挙での、森喜朗首相（当時）の発言だ。組織票に強い政党の総裁の、若者を含めた無党派層に対する本音が出たのだらう。▼若者が投票所へ向かわない。つくば市選挙管理委員会によると、昨年12月に行われた地方選で、20代前半のつくば市民の投票率は31・48%だった。7月の参院選では年代ごとの投票率は測っていないが、国政選挙においても投票率はほぼ同じだという。投票率54%で、全国ワースト2位の茨城県の中でも、際立って低い▼五十嵐立青つくば市議（平成18年度国際修）は「筑波大生は、政治に関心があっても接点を持つきっかけがつかめない人が多い」と語る。今回の参院選で、インドネシアにいたある学生は、大使館で投票できることを地元紙で知り、問い合わせたものの結局投票できなかったという。制度が整っても、運用する人間の意識が追いついていないようだ▼「遊魚動緑荷」という坂本竜馬の書がある。池の魚でも水面の葉を動かせるのだから、人間が理想を抱いて、政治を動かせるに訳がない、という意味だ▼「権利」は、池の底で眠らせるためにあるのではない。行使する主体と、支える制度の上に成り立つ。しかしまた、制度を守るも変えるも「権利」であることを忘れてはならない。



つくば歳時記

つくば最大の祭り「まつりつくば」が25、26の両日、つくば駅周辺で行われた。市外からも多くの人々が訪れ、会場は最大25万人の人でにぎわった（土浦学園線で）（撮影・関田航二体育専門学群）

グローバルCOE採択

本学は「HAL」関連1件

次回採択へ準備強化を

推進機構発足 研究支援へ本腰

文部科学省は6月15日、国際的に卓越した研究教育拠点の形成を目的とするグローバルCOEプログラム

の1件のみが採択された。採択件数最多は、大阪大学の7件だった。

採択された取り組みは、今年度の採択結果を発表した。本学からは山海嘉之教授「知能を拠点リーダーとする」「サイバニクス、人



「HAL」を横に、プロジェクトを説明する山海教授

機械・情報系の融合複合

倫理、法律分野まで、さまざまな学問分野が融合し

て、長期的な観点から、ロボットと人間が共存する社会の実現を目指す。また、このような社会を支える人材の育成と、その受け皿となる新産業の創出などにも取り組む。

山海教授は今回同プログラムに採択されたことについて、「多様化する社会の中で、このプロジェクトが異分野の教員が同じ観点に立つて研究を行うモデルケースになればと語った。

今後「サイバニクス専修プログラム」と題した博士後期課程を設置し、新領域を開拓する人材の育成に努める。

◇ 本学は同プログラムの前身で、大学間の研究競争促進

としていた。全科目の平均受講者数は118人で、受講者が300人を超える科目も4科目あった。中でも「テクニカルライティング」や「古典に学ぶ—古典古代篇」には400人近い受講者が集まった。

一方、平均受講者数の3割を下回った科目は3科目だった。そのうち27人、一番受講者が少なかった「キャリアデザイン—学問と自分—」(キャリア支援室開設)は、標準履修年次を2年次としていたため、同室では来年度以降1年生も受講できるよう検討

を行っている。自組織の学生が全受講者の7割を占め、専門基礎科目のような位置づけになってしまっている科目は3科目あったが、一昨年度と比べて半分以下に減少した。総合科目編成委員長の山田教授は「満足度は高いが自組織の学生が受講者の7割を占めている科目や、学生が殺到するが評価は低い科目、学生の集まりが悪い科目などがある。履修状況と学生の評価をセットにして見ていきたいと話した。

9月26日には「総合科目に関するFD研修会」を開催し、来年度に向け検討を行っていく方針だ。

75%が総合的に満足

受講者の偏りも分析へ

総合科目編成委員会(委員長 山田宣夫教授・文芸)が1学期にアンケートを使って実施した総合科目の授業評価アンケートの結果がまとまった。対象とな

ったのは1学期に開設された54科目のうちの52科目。該当科目の受講者4838人中4611人が回答した。総合的な満足度では肯定的な回答が75%にのぼったが、前年度3学期に比べて減少が見られた。

アンケート項目は全12項目。学生の授業への意欲度は76・9%(前年度3学期77・7%)、授業の理解度は69・7%(同78・7%)、学生の満足度では75・2%(同83・2%)が肯定的な回答で、全体的に前回を下回った。その中で、授業の受講者数については、前回の49・5%より多い52・2%が「適切」と回答した。

回答者数が50人以上で特に学生の満足度が高かった科目は、「性と生殖の看護学(看護学類開設)」「自閉・軽度発達障害の世界」(障害学科学類開設)、「臨床感覚器学」(医学類開設)だった。「自閉・軽度発達障害の世界」は新規開設科目で、新旧合わせて14の学類からそれぞれ5人以上が受講し、総受講者数は150人だった。幅広い学類から適正な数の学生が集まり、満足度と履修状況の両面から見て総合科目として望ましいといえる。前年度まで人間学類が開設していた「障害と共に生きる」も、アンケート

では「朝永記念室」「白川記念室」「江崎玲於奈博士記念展示」として、ノーベル賞受賞者の研究室の再現や、実験装置の展示などを行う。また、「体育・スポーツ展示」として、元サッカー日本代表の中山雅史選手(平成元年度専修)のユニフォームや、陸上の成迫健児選手(平成18年度専修)の靴、金メダルなどを展示する。筑波大学アーカイブセンターでは「図書館流通センター」の石井昭会長から寄贈された美術品を展示する。

大学説明会で立ち寄った高校3年生の女子は「本物のオリンピックのメダルを見るのができてすごい。実際の資料がたくさん展示してあって良いと語った。

開館時間 午前9時—午後5時、休館日 毎週月曜日

し、本学は21世紀COEへの取り組みをほとんどそのまま提出し、新しいものは規模が小さいまま提出した例が多かった。

今回の採択へ向け、本学は優れた研究者への研究助成を目的とした戦略イニシアティブ推進機構を8月2日、発足させた。優れたプロジェクトには、研究者の重点配置や、研究資金援助を行い、グローバルCOE

などの採択へ向けて、大学が強力に後押ししていくことを目的とするものだ。

水林副学長は「国内外まで見据えた連携プロジェクトなども行っていく必要がある」と語った。グローバルCOEは来年度、医学系、数学・物理学・地球科学、機械・土木・建築・その他工学、社会科学、学際・複合・新領域の5分野で公募される。

大学会館リニューアル

筑波大学ギャラリー開館

学外者も立ち寄れる本学の名所を目指し、総合交流会館に隣接した大学会館内に「筑波大学ギャラリー」がオープンした。ノーベル賞受賞者のゆかりの品やオリンピックの金メダルなどを展示し、土日も開館する。

開館式は7月23日に大学会館ホールで開催され、来賓と本学関係者合わせて200人以上が参加した。

式に続き、ノーベル賞受賞者で元本学学長の江崎玲於奈博士による特別講演「サイエンスの心が行われた。総合交流会館は、開学30周年記念事業の一つとして大学会館に併設する形で建設され、昨年完成した。今回、大学会館内に「筑波大学ギャラリー」と「筑波大学アートスペース」を新設。それらを併せたエリアを本学の情報発信と交流の拠点としていく。

「筑波大学ギャラリー」では、「朝永記念室」「白川記念室」「江崎玲於奈博士記念展示」として、ノーベル賞受賞者の研究室の再現や、実験装置の展示などを行う。また、「体育・スポーツ展示」として、元サッカー日本代表の中山雅史選手(平成元年度専修)のユニフォームや、陸上の成迫健児選手(平成18年度専修)の靴、金メダルなどを展示する。筑波大学アーカイブセンターでは「図書館流通センター」の石井昭会長から寄贈された美術品を展示する。

大学説明会で立ち寄った高校3年生の女子は「本物のオリンピックのメダルを見るのができてすごい。実際の資料がたくさん展示してあって良いと語った。

開館時間 午前9時—午後5時、休館日 毎週月曜日

つくちゅう・シネマワークショップ

中学生が映画を制作 友情描いたストーリーに



照明、カメラなど機材を使ったテスト撮影 (春日キャンパスで)

(高崎中学3年)は「友達とケンカをするシーンがあるが、普段の生活では友達とケンカをすることがないのうまく表現していきたい」と意気込みを語った。脚本が決まると技術指導を経て8月17日から撮影に入った。撮影用の機材を組み立て、実際に動かし収納する。初めて触れる機材に中学生はみんな真剣な様子だった。カメラの位置や場面の演出など、どのように撮るかも自分たちで考えるため、チームワークは欠かせない。

月野木監督は「当初に比べ意見が出るようになってきた。物語の本質を議論するまではいかないが、自分たちで行動しようという意識が出てきた」と、生徒たちの変化について語った。ワークショップ担当の西岡真一教授(図情)は「最近是人前で他人と違う意見を言える生徒は少ないが、だんだんと異なる意見でも大きな声で発言し、議論できるようになってきた」と話した。

つくちゅう・シネマワークショップには男子3人、女子12人の計15人が集まった。応募の際に提出した、映画の原作となる作文には、仲直りや友情を描いたものが多く、最終的な脚本もそれらを盛り込んだストーリーになっている。主

導に指導にあたる監督は、2002年に「白い犬とワルツを」で監督デビューした月野木隆監督だ。映画制作を通しての目標は、映画作りを楽しむこと、達成感を得ること、全員が積極的に参加することだ。俳優の役は立候補で、競合した場合にセリフ読みをして多数決で決めた。主人公を演じる中村茜さん

は「友達とケンカをするシーンがあるが、普段の生活では友達とケンカをすることがないのうまく表現していきたい」と意気込みを語った。脚本が決まると技術指導を経て8月17日から撮影に入った。撮影用の機材を組み立て、実際に動かし収納する。初めて触れる機材に中学生はみんな真剣な様子だった。カメラの位置や場面の演出など、どのように撮るかも自分たちで考えるため、チームワークは欠かせない。

筑波大学出版会

年12冊の刊行目指す

本学の研究成果の発信や学内研究者の出版機会の確保を目的として、「筑波大学出版会」(会長 山崎洋一学長)が7月1日、学内組織として設立された。年12冊の刊行を計画しており、今年度は6冊の刊行を目指す。

文系では理系に比べて外部資金の獲得が難しく、研究業績を本に出版する

ことが高い評価を得る数少ない機会となっている。そのため、人文社会科学研究の教員を中心に出版会設立の強い要望が出されていた。今回、法人化により、大学が人的・経済的な支援をする内部組織として出版会の設立が実現。将来的には学外組織へ移行する方針だ。

書籍の制作・販売は、現在学内の書籍部に参入している出版社の丸善(本社 東京・中央区)とその子会社に委託する。

第一弾として、10月1日の開学記念日に、古代文明の思想、草原の科学、世界の遺産の長短をテーマにした3冊を刊行する予定だ。

担当の谷川彰英理事・副学長は「採算を取れるよう良い本を出すことが基本方針。眠っている宝のようなアイデアがあれば積極的に本に出していきたい」と語った。

1959年東京都立大学大学院博士課程社会科学単位取得退学。同年同大学文学部助手、79年本学歴史・人類学系教授、80年日本民族学会(現日本文化人類学会)会長、84年本学大学院地域研究科長、93年同退職、96年京都文教大副学長、00年城西国際大文学部教授。

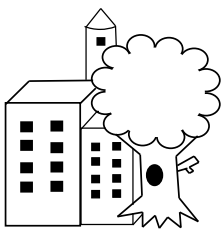


開館式のと、ギャラリーの見学が行われた

つくばを知る

誕生
20周年

都市学園学研究



つくば市が誕生して今年で20年。日本最大の研究学園都市として、今日まで発展を遂げてきた。研究学園都市開発から近年のつくばエクスプレス開業に至るまで、つくば市の計画的都市開発がどのように行われてきたのか。都市工学などの観点からつくば市を解析した。(本紙・齋藤竜太、八木悠気、比較文化学類、小笹諒介、体育専門学群)

街づくり

が点在している。それに対してつくばでは南北に3本、東西に6本の幹線道路を走らせ、その中に繁華街、研究機関などを利用する土地ごとに密集させて、整然とした街づくりを行ってきた。

土地利用ごとに街を区分 美しく住みやすい街へ

以前から住む旧住民と、以降に移り住んできた新住民との間に交流が生まれにくかったり、旧集落があるところでは道路計画が頓挫するなど、問題もある。村山教授は「国主導の都市計画が旧住民に受け入れられなかった部分もあるのでは」と話す。今は市が「ま

景観

ますつくばに特徴的なのが、ゾーニングと呼ばれる街の「区分け」だ。多くの都市では、商業地区、居住地区などの混在する地域

は、筑波山や桜川流域の水田など豊かな自然環境の広がるゾーンだ。筑波山は市の北端に位置し、古くから地域のシンボルとして親しまれている。景観計画(案)では、建築物の色彩が重要な要素になる。本学や産業技術総合研究所の建物は、茶色を基調とした落ち着いた色合いで統一され、成熟した街、ハイテクの街というイメージを作り出している。

つくば市には、田園風景、研究学園都市の風格ある景観(つくばエクスプレス(TX)沿線の新都心など)多様な景観が広がっている。10月から施行される景観条例で、つくば市建設部街並み景観推進室は、3つのゾーンを設定し、それぞれにあった景観計画(案)を考えている。

「自然地形の眺望と田園の景観を形成するゾーン」

「研究学園都市の景観を形成するゾーン」は教育研

筑波山への眺望を守る

色彩を具体的数値で規制

市内の木々や大通りの街路樹など、緑が多いつくば市においては、緑と建造物の調和は景観計画の大きなテーマだ。街並み景観推進

景観計画(案)では、建築物の外壁の色彩について、色の鮮やかさを示す彩度は6以下に設定されている。6が基準になっているのは、鮮やかな葉の緑色がおおよそ彩度6で、その色を邪魔しないようにするためだという。

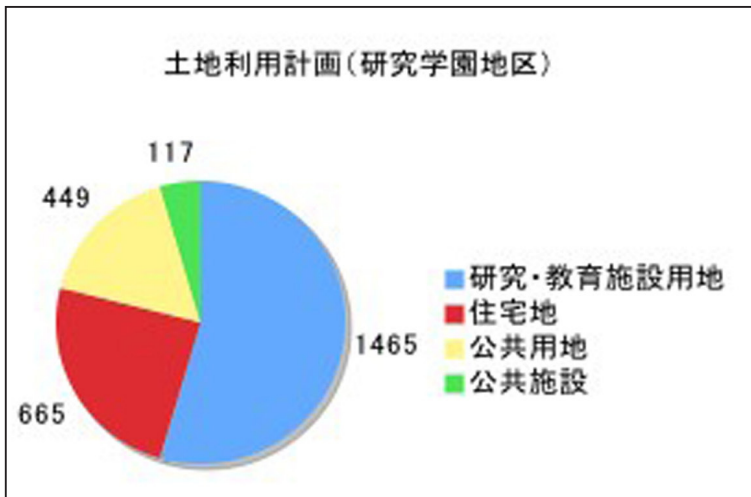
山本講師は、都市の景観がうまく作られている場所として、レクサス、三井ビル、ライトオン、クレオが集まる、つくばセンター付近の交差点を挙げた。クレオは明るめの白だが、レクサスは黒、ライトオンは茶



緑と建造物の調和がテーマの研究学園都市

人口統計

あることで、居住地中心、家族中心の生活が生まれる。今日では、緑も多く、都市としてのバランスがとれている」と分析した。



研究学園都市であるつくば市は、市の人口約20万のうち、ほぼ1割を学生が占める若者の街でもある。本学生も多くが市内に住んでいる。

また、最近は学生によるベンチャー起業など、若者自身による新たな産業創出の動きも盛んだ。遠藤事務局長は「学生の若い力が、今後地域のさらなる活性化につながる」と期待を寄せる。その一方、筑波大生が卒業後、つくば市にと

経済

今年、市制施行20年になるつくば市は、買い物客などの商業圏人口が40万人と見積もられ、土浦市の35万人を上回る茨城県南の中心都市でもある。2005年のつくばエクスプレス(TX)開通に伴い、今後経済面でのさらなる発展も期待されている。

かつて、つくば市内の商業と言え、大学周辺に立地する、安価な定食などを扱う飲食店などが主だった。「何もなかったところ

また、研究学園都市建設から間もないころは、近隣の土浦市などに通勤したり、買い物などに行ったりするつくば市民が多かった。85年の時点では、昼間人口が約1万4700

脱ベッドタウンで都市化 魅力の発信地を目指す

Xが開通し、ショッピングモールが作られ、TX沿線で大規模な宅地開発が進む

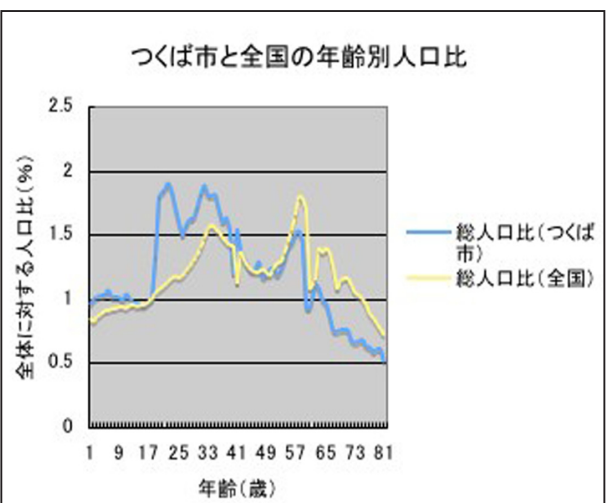
街を支える学生の力 つくば離れに歯止めを

遠藤信一事務局長(前出)は語る。また、学生が増えたため、不動産業も発展し、現在つくば市内には50・60の不動産業者があるとい

近いうちに、85年の科学万博開催以降、都市化が進み、つくば市の都市としてのあり方が変わっていく。平成に入り、

屋間人口と夜間人口が逆転するようになり、「土浦からつくばに、客が流れてくるようになった」と、遠藤事務局長。03年に

大手デパートが、07年には大手ホテルが撤退するなど、経済的な地盤沈下が深刻な土浦とは対照的に、T



このような傾向は、人口動態にもはっきり表れている。例えば昨年3月から4月にかけて、つくば市の人口は約1500人減少した。卒業した学生や、退職・転勤した研究者がつくば市を出て行くため、毎年春に見られる現象だ。最近のつくばエクスプレス開通に伴う都市化で、月1000人から数百人、つくば市の人口が増えている現状にも関わらず、今年の3月から4月にかけても、500人以上の人口減少が起きた。

遠藤事務局長は「同じ学生の街でも、例えば京都のように、大手ゲーム会社の本社があるなど、ある程度学生の受け皿となる動機先がある街もある。今後、いかに筑波大の卒業生という知的財産を、つくば市で生かせる場をつくっていくかが課題だ」と語った。

反射鏡

ワクワクする
夢物語の舞台

五十嵐祥 (比文 2 年)

僕は「ハリー・ポッター」が大好きです。「ナルニア国物語」や「サクル・オブ・マジック」に眠れる森の美女、「アーサー王物語」など、ファンタジー物というジャンルの中で冒険をしたことでしょう。

筑波時評

最近、スポーツアイドルの王子たちが大量生産され、インフレ現象が起きている。昨年、高校野球の夏の甲子園で産声をあげたハンカチ王子、今年のアマチュアゴルフで多くのギャラリーを連れてまわるハニカミ王子、さらに、今年高校野球の夏の甲子園ではメカネ王子などがスポーツ新聞に書かれたり、テレビのワイドショーで語られている。王子たちがどんどん作られ消費されている。そして、スポーツの消費者は、この王子ブームに引っぱられ、野球場に殺到したり、ゴルフの大会に駆けつけたりする。

マスコミが作り出した王子たちに、スポーツ業界の関係者や、一般市民のスポーツ消費者たちが翻弄されるのである。さらに、王子というネーミ

しかし、中学や高校で習う歴史では、中世ヨーロッパについてはほんの少ししか触れません。しかも習うのは、似たような名前の王たちがこんなことをしたか、誰かがそれに対して革命を起こしたなど政治からみることばかりです。そんなのを勉強しても全くワクワクしません。

僕が勉強したいのは、魔女が暮らしていた村はすれの森や、王女さまが身分を隠して暮らしていた町、魔法の剣が鍛えられた鍛冶屋など、物語のどこどこ

が出現する以前から、それぞれ時代には有名で人気のあるスポーツプレイヤーが多く存在していた。スポーツで優れた業績をあげ、さらに、容ぼうの優れた人が人気を集めていた。しかし、彼らはそのスポーツが好きな人々の間で憧れの人であったり、愛される人であったり、スポーツが中心の枠の中で語られた。いわゆる、「国民的選手」

人気があつた。それが、今では、王子の名がつけられ、スポーツの枠を超えて、芸能人アイドルのように扱われる。

1970年代から80年代の半ばまで、日本だけでなく、アジアでも「国民的」と呼ばれる、女優や俳優などのスターが存在していた。たとえば、女優として韓国の張美姫、台湾の林青霞などで、

に顔を出す庶民の暮らしの歴史では、中世ヨーロッパで農民たちは日々を過ごすのに決まらず、物語に彩りやリアリティを加えてくれる場所、普通の市民や農民たちがあつた時代になんかことを考え、どんなものを着、食べ、日々どうやって暮らしていたのかというところなのです。

中世ヨーロッパの民々の暮らし、国も僕たちの住んでいる日本と違えば時代すら異なっている、全くの別世界なのです。そんな世界のことを研究するなんて、考えただけでもワクワクします。

変わらないアイドルに変わる。そして、個人の好きな形で消費する。

しかしながら現在、ハンカチ王子やハニカミ王子によって野球やゴルフの人口が安定的に増えたり、それぞれのスポーツの理解を深め楽しむスポーツファンが増えたり、スポーツ業界が施設や設備をはじめ振興のために投資を増加させたりの影響はあまり見られない。

「王子」にされるアスリート

自律的なスポーツ消費を

ティティの多元的欲求を満たす多面的アイテムで遊戯している。

2000年代の日本では、サッカーのベッカム様や、韓流のヨン様やジウ姫、ハンカチ王子やハニカミ王子などが、国籍やジャンルの枠を超えて、人々にもはや消費されるようになってきた。このことがスポーツのアイドルを芸能人と



小型・高性能なバッテリーの開発

高桑翔 (情科 1 年)

日常的に携帯電話やノートパソコンを使うことの多い私にとって、バッテリーの性能は分単位で重要になってくる。現在の二次電池は従来と比べて便利になってはいるが、容量や安全性など問題点も多い。そ

ここで、より小型で高性能なバッテリーの開発というのが、私のやってみたい研究である。

新世代の蓄電デバイスとしてプロトンポリマー電池というものが研究されている。これは電極として導電性ポリマーを使用したもので、金属を含まないため環境に負荷がかかりにくい上、高分子化合物の隙間をプロトンが高速で動くので充電が非常に強力であるという特徴を持っている。しかし、プロトンポリマー電池のエネルギー密度はリチウムイオン電池の十分の一以下で、バッテリーとしては使用できないのが現状である。

環境問題とエネルギー問題を担う新エネルギー源として有力な燃料電池も、一方で小型機器のバッテリーとして開発が進められている。野外で水素などの燃料を入手できるようにすれば、常に電力を供給しながらの使用が可能となる。ところが燃料電池は瞬間的な高出力ができないため、やはり単体での使用はできない。

解決策の一つとして、燃料電池の補助に二次電池を使用することが考えられる。燃料電池の不足部分を補う二次電池として、環境にやさしく高出力可能なフ

ロトンポリマー電池などは最適である。

どのような電池でも必ず利点と欠点を含み一筋縄ではいかないが、組み合わせることによって解決できる問題もある。例えばハイブリッドカーはエンジンと電気モーターを適切に制御し、高い燃費性能を生み出している。電池にも切り替え制御のための基盤とソフトウェアが組み込まれる時代が来るのではないだろうか。

次号のテーマは「夢を叶えて欲しい学生組合です」

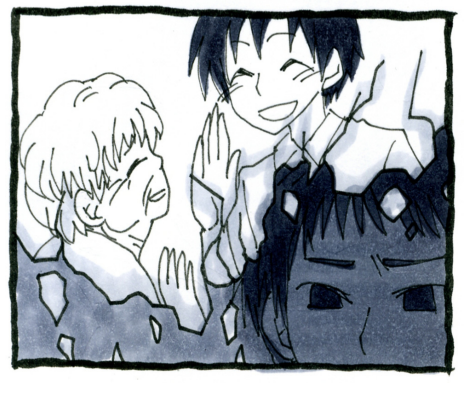
連絡先
TEL 0266・8556・9999
e-mail shibun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

留学生の目



ザカリヤ・セイン

日本に来る前、いろいろなメディアを通じて日本を知り、日本の文化はとて素晴らしいと感じて、日本人はみんな気高く、礼儀正しく、日本と似たような文化を持っていると勝手に思っていた。日本に来て初めてコンビニに入った時、アダルト雑誌が公然と並んでいるのを見て、本当にびっくりした。もちろんどの国にもアダルト関係のものがある。し



武士道精神 今いずこ

また日本人は自分の国の人に対して冷たい。たとえは、子供連れのお母さん、あるいはお年寄りが電車の中に入ってきて、誰も席を譲ろうとしなかった。逆に席を譲っ

たのは外国人の私だけ。友達がある時、別の車両で転んだお年寄りを助けてよとしたが、別の車両から助けに行ったらかえってそのお年寄りのプライドを傷つけないか、と思わずにはいられない。悪口をつもりでこのように書くているわけでもない。もちろんどの国でもそれぞれの問題を抱えている。私の国でもむかつくことがある。例えば、サウジアラビアには身勝手な人がかなりいる。また、多くの人は貧しい国からサウジアラビアに出稼ぎに来た外国人に平等に接していないという人種問題もある。

だから、どういう出来事が私の今の日本のイメージを壊したのかを指摘したかった。(サウジアラビア・日本語日本文化学類 4 年)

アートイベント「CO - MORE - BI」

病院にフェルトの森

患者の作品廊下を飾る

「一息つける場所」と好評

本学附属病院1階の渡り廊下「アスパラガス」が、6月18日～7月13日にかけ、フェルトの森が作り出された。総合科目「大学を開くーアート・デザインーロデュース」(担当Ⅱ連見孝教授、目黒桃代講師・芸術)の履修者からなる学生



フェルトの森は、日を追うごとに茂っていった

このイベントでは、「患者」という、病院に対して受ける身的な存在の人が、病院

たり、近隣の養護施設に寄贈されたりした。

同団体の活動は、次第に

ジャーナリズム講座

ゲストに「リング」作者

マスコミの第一線で活躍

波大生に求める「質」

波大生に求める「質」とい

息づける場所があるのはと

フェルト細工は、7月い

波大生に求める「質」とい



研究とは「問いに答える

研究とは「問いに答える

単位制度への問いが発展 大学教育の実質化を目指す



清水 一彦

せんでした。反面、他の

身近に存在していたこの

今日の発展過程を制

は体育の4単位が加わっ

1952年生まれ。人間

の事実問題を解明すると

ら、比較の視点から教育

解決をしていく重要性が



子どもアトラウンジ 自由な意見飛び交う

生16人が参加した。子ども

最終日には、7月に大学

た。来年も同様の試みを

初日の24日には、芸術学

2日目は、本格的にビ

参加した小学生からは



井川 義次

良い試みだ」と語った。

本講義は2、3学期も開

た。来年も同様の試みを

大ロマンに見る精神的ルーツ

三国志演義

羅貫中著

と信じられるようになった。

すべてを生み出して、無

筑波大で歩む第2の道

学びの転換点に迫る



伴場 啓人 さん
(社学 4 年)

理系から文系へ、転類をきっかけに180度違う道を進み始めた人がいる。伴場啓人さん(社学4年)が中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

けできない自分が悔しかったと伴場さん。小学生のころから持っていた宇宙工学への興味の延長で工学基礎学類に入学し、それまで自分の知的好奇心を満たすためだけの勉強しかしていなかった。「人のために役に立てられる勉強がしたい。弁護士を雇えないのなら、自分が弁護士になって父親の会社を助けたい」。転類を決意したのはそんな思いからだった。

理系である工基礎から文系の社会学類への転類は、困難を極めるものだった。転類のチャンスは一回しか

で法律の勉強するのは孤独だった。けれど、自分の学びたいことをやる喜びには代えられなかった」と振り返る。

法学の理詰めの考え方や理系の論理的な思考法には

理系から文系へ、転類をきっかけに180度違う道を進み始めた人がいる。伴場啓人さん(社学4年)が中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

けできない自分が悔しかったと伴場さん。小学生のころから持っていた宇宙工学への興味の延長で工学基礎学類に入学し、それまで自分の知的好奇心を満たすためだけの勉強しかしていなかった。「人のために役に立てられる勉強がしたい。弁護士を雇えないのなら、自分が弁護士になって父親の会社を助けたい」。転類を決意したのはそんな思いからだった。

理系である工基礎から文系の社会学類への転類は、困難を極めるものだった。転類のチャンスは一回しか

で法律の勉強するのは孤独だった。けれど、自分の学びたいことをやる喜びには代えられなかった」と振り返る。

法学の理詰めの考え方や理系の論理的な思考法には

理系から文系へ、転類をきっかけに180度違う道を進み始めた人がいる。伴場啓人さん(社学4年)が中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

けできない自分が悔しかったと伴場さん。小学生のころから持っていた宇宙工学への興味の延長で工学基礎学類に入学し、それまで自分の知的好奇心を満たすためだけの勉強しかしていなかった。「人のために役に立てられる勉強がしたい。弁護士を雇えないのなら、自分が弁護士になって父親の会社を助けたい」。転類を決意したのはそんな思いからだった。

理系から文系へ、転類をきっかけに180度違う道を進み始めた人がいる。伴場啓人さん(社学4年)が中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

けできない自分が悔しかったと伴場さん。小学生のころから持っていた宇宙工学への興味の延長で工学基礎学類に入学し、それまで自分の知的好奇心を満たすためだけの勉強しかしていなかった。「人のために役に立てられる勉強がしたい。弁護士を雇えないのなら、自分が弁護士になって父親の会社を助けたい」。転類を決意したのはそんな思いからだった。

理系から文系へ、転類をきっかけに180度違う道を進み始めた人がいる。伴場啓人さん(社学4年)が中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

今年25歳になった藤吾郎さんは心理学類の1年生だ。ほんの数カ月前までフリーターを続けていた彼が、なぜ突然大学生になろうと思ったのだろう。小学校2年生の時、両親の離婚が原因で、それまで親しんでいた故郷を離れることになった。「このころ

から家族との不和と孤独に、自分に自信を失っていった」と振り返る。中学校では不登校気味になり、高校も2年生の時に中退してしまったという。

その後、料理が好きだとという理由で調理のアルバイトを始めた。藤さんはいすれはこの仕事で定職に就くれないと考えたからだ。

父の経営する会社の財政が悪化したことがきっかけだった。苦しい財政状況の中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

けできない自分が悔しかったと伴場さん。小学生のころから持っていた宇宙工学への興味の延長で工学基礎学類に入学し、それまで自分の知的好奇心を満たすためだけの勉強しかしていなかった。「人のために役に立てられる勉強がしたい。弁護士を雇えないのなら、自分が弁護士になって父親の会社を助けたい」。転類を決意したのはそんな思いからだった。

理系から文系へ、転類をきっかけに180度違う道を進み始めた人がいる。伴場啓人さん(社学4年)が中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

けできない自分が悔しかったと伴場さん。小学生のころから持っていた宇宙工学への興味の延長で工学基礎学類に入学し、それまで自分の知的好奇心を満たすためだけの勉強しかしていなかった。「人のために役に立てられる勉強がしたい。弁護士を雇えないのなら、自分が弁護士になって父親の会社を助けたい」。転類を決意したのはそんな思いからだった。

理系から文系へ、転類をきっかけに180度違う道を進み始めた人がいる。伴場啓人さん(社学4年)が中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

けできない自分が悔しかったと伴場さん。小学生のころから持っていた宇宙工学への興味の延長で工学基礎学類に入学し、それまで自分の知的好奇心を満たすためだけの勉強しかしていなかった。「人のために役に立てられる勉強がしたい。弁護士を雇えないのなら、自分が弁護士になって父親の会社を助けたい」。転類を決意したのはそんな思いからだった。

理系から文系へ、転類をきっかけに180度違う道を進み始めた人がいる。伴場啓人さん(社学4年)が中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助



藤 吾郎 さん
(心理 1 年)

から家族との不和と孤独に、自分に自信を失っていった自分には心打たれる言葉だった」と語る。

相談に乗ってくれるNさんを見ていた時、カウンセラーになるという目標ができたという。自分の小さいころからの経験を生かし、家庭問題などで苦しんでいる子どもの役に立てるかもしれないと考えたからだ。

その後、料理が好きだとという理由で調理のアルバイトを始めた。藤さんはいすれはこの仕事で定職に就くれないと考えたからだ。

父の経営する会社の財政が悪化したことがきっかけだった。苦しい財政状況の中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

けできない自分が悔しかったと伴場さん。小学生のころから持っていた宇宙工学への興味の延長で工学基礎学類に入学し、それまで自分の知的好奇心を満たすためだけの勉強しかしていなかった。「人のために役に立てられる勉強がしたい。弁護士を雇えないのなら、自分が弁護士になって父親の会社を助けたい」。転類を決意したのはそんな思いからだった。

理系から文系へ、転類をきっかけに180度違う道を進み始めた人がいる。伴場啓人さん(社学4年)が中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

けできない自分が悔しかったと伴場さん。小学生のころから持っていた宇宙工学への興味の延長で工学基礎学類に入学し、それまで自分の知的好奇心を満たすためだけの勉強しかしていなかった。「人のために役に立てられる勉強がしたい。弁護士を雇えないのなら、自分が弁護士になって父親の会社を助けたい」。転類を決意したのはそんな思いからだった。

理系から文系へ、転類をきっかけに180度違う道を進み始めた人がいる。伴場啓人さん(社学4年)が中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

出会いきっかけに再起

うと考えていたという。しかし、労働環境への不満などから料理人として定職に就くという考えはなくなっ

た。藤さんが大学に入ろうと思ったきっかけは、22歳の時、インターネットでNさんと出会ったことだった。藤さんは当時、兄に対して劣等感を抱き、それを解消するために兄を超えるしかないという反抗心を燃やしていた。しかし、「お兄さんに対して劣等感を持つ必要はない」というNさんの言葉により、精神的に救われたという。Nさんは「藤さんは自分自身を理解していない、もっと自信を持てた方がいい」と自分を肯定してくれた。自信を失っていた自分には心打たれる言葉だった」と語る。

相談に乗ってくれるNさんを見ていた時、カウンセラーになるという目標ができたという。自分の小さいころからの経験を生かし、家庭問題などで苦しんでいる子どもの役に立てるかもしれないと考えたからだ。

その後、料理が好きだとという理由で調理のアルバイトを始めた。藤さんはいすれはこの仕事で定職に就くれないと考えたからだ。

父の経営する会社の財政が悪化したことがきっかけだった。苦しい財政状況の中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

けできない自分が悔しかったと伴場さん。小学生のころから持っていた宇宙工学への興味の延長で工学基礎学類に入学し、それまで自分の知的好奇心を満たすためだけの勉強しかしていなかった。「人のために役に立てられる勉強がしたい。弁護士を雇えないのなら、自分が弁護士になって父親の会社を助けたい」。転類を決意したのはそんな思いからだった。

理系から文系へ、転類をきっかけに180度違う道を進み始めた人がいる。伴場啓人さん(社学4年)が中、中小企業で弁護士を雇うことができず、父親の会社には倒産の危機が迫っていた。取引先の会社が民事再生法を適用したことにより、「家族の危機に何も手助

けできない自分が悔しかったと伴場さん。小学生のころから持っていた宇宙工学への興味の延長で工学基礎学類に入学し、それまで自分の知的好奇心を満たすためだけの勉強しかしていなかった。「人のために役に立てられる勉強がしたい。弁護士を雇えないのなら、自分が弁護士になって父親の会社を助けたい」。転類を決意したのはそんな思いからだった。

自らの生き方を考え直し、本学に入学したり、他学類へ転類したりした人がいる。彼らはどうして、自分の生き方を見つめ直そうと思ったのか。そのきっかけや現在の生活、思いなどに焦点を当てた。また人生の転換点となる編入、転類の制度とはどのようなものであるのか。それらの制度が抱える問題などを追った。(本紙・松本典子Ⅱ人文学類、馬野裕子、高橋俊樹、藤井沙織Ⅱ社会学類、上野一樹Ⅱ心理学類、柏零Ⅱ社会学類)

自らの転機を語る



小川 拓也 さん
(社学 3 年)

専に通い、今年本学に編入した。通常、高専からは工学部へ進学する学生が多いが、小川さんは経済を専攻している。

小川さんが経済への関心を持ち始めたのは、高専2年の時だ。中学時代の先生の勧めで高専に入学したものの、数学や物理が得意な学生達の中で、自分ではさえないのでは、と思い始めていた。工学に向いていないと思った。そんな時、

編入へ向けた受験勉強には、先生から借りた本や、マイクロ経済演習のテキストを読んだ。これらの勉強は編入後の勉強にもつながっているため、苦にはならなかったという。

小川さんは「大学は、自分のやりたいことや興味の ある授業を選べるころがない」と大学生活を楽しんで

高専時代に経済へ興味

していろんな人と出会った。理士の資格を取るつもりだ。藤さんは「出会った当時のNさんとも同じ歳に

なったが、その時Nさんに感じた偉大さはまだ自分にはないと思う。大学生活で

必修科目で履修した「特別研究」という科目で経済の授業に魅力を感じた。

それまで工学の勉強をしていた小川さんにとって、他分野である経済の授業は興味深かった。3年の時に、経済分析に必要な数学的手法を学び、マイクロ経済分野で「保険市場の分析」についての論文を作成した。

「ニュースの内容が現実として見えてくる。政策がわかるようになった。基本から経済をやってみよう」と思い、経済を学べる大学を探した。

編入生への交友関係では、編入生同士の「狭く深い」付き合いが中心になる傾向にあるようだ。

交友関係

編入生の交友関係では、編入生同士の「狭く深い」付き合いが中心になる傾向にあるようだ。

渡邊桂太さん(情報3年)と五十嵐洋介さん(同)は、今年それぞれ別の高等専門学校(高専)から編入してきた。入学してもうすぐ半年近くに

なるが、「編入生の知り合いが圧倒的に多い」と五十嵐さんは話す。渡邊さんも「編入生以外の学生と積極的に付き合う人は少ないと感じる」とい

う。基本的にも他学類でも同様の傾向が見られるように、社会学類の学生も「同じ専攻、同じ学年の編入生との付き合いが中心」と語る。

「狭く深い」付き合い中心
枠越えた交流への思い

要因になっている。

編入生とそれ以外の学生の交流が少ない理由としては、交流の場の少なさが挙げられる。編入生同士のコミュニティは、編入生向けの掲示板のほか、メールやリストや、他大学にもリンクしているコミュニティサイトまで存在するなど、極めて充実している。その一方で、編入生という枠を超

小川さんは現在、「自分の力を試したい」と、公認会計士の資格を取得するため、5月から専門学校にも通っている。「将来はコンサルティング業務に就きたい。会計系にしても、経済はバックグラウンドで役立つと思う」と意欲を見せる。

本来をうった役割を担うはずのサークルも、「半年で引退してしまうから、今さら入っても」と思ってしまう。「授業や就職活動に専念したい」と、入らない編入生が少なくない。渡邊さんはサークルに所属しているが、「2年生とはお互いに敬語になってしまつたので付き合い方が難しい」と話す。対人関係の難しさも編入生がサークルに入らない理由の一つと言

えそうだ。

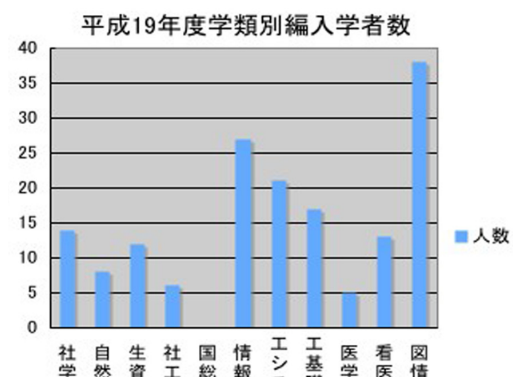
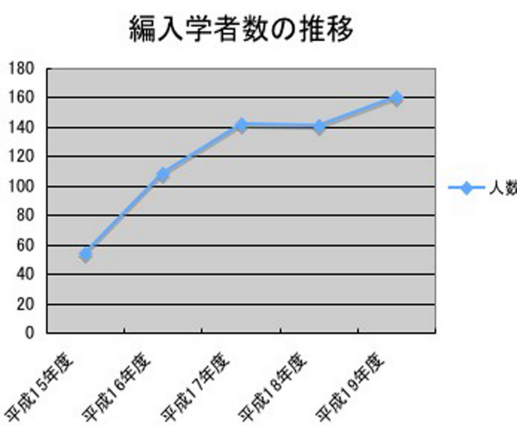
しかし、編入生以外の学生との交流を望む編入生は多い。編入生以外の学生に対し、「入学当初はお互いによそよそしく接しているように感じる時があった」という一方で、「まじめな人が多い」「話しかければ温かく接してくれる」など好意的な意見も多い。また、「目的意識がはっきりとしていて非常に勉強熱心で、編入生を評価する学生も少なからず存在する。

編入生とそれ以外の学生との交流を促進するためには、交流の場を作るのはもちろんのこと、「編入生」という枠にとらわれない付き合いをする必要があるだろう。

データ

編入全体で増加傾向

本学には転類・編入の制度があり、多数の転学類・編入生が在学している。



成19年度で10人（志望者17人）、平成18年度で16人（志望者26人）、平成17年度で15人（志望者31人）だった。

試験制度 編入試験の狭き門 過去問分析が重要

編入制度は、現在多くの大学で導入されている。しかし、一般入試と比較して、その実態はあまり知られていない。

編入試験の科目は、英語と専門科目であることが多く、面接試験が課されることもある。大学によって出題傾向が大きく異なるため、過去問の分析が重要。



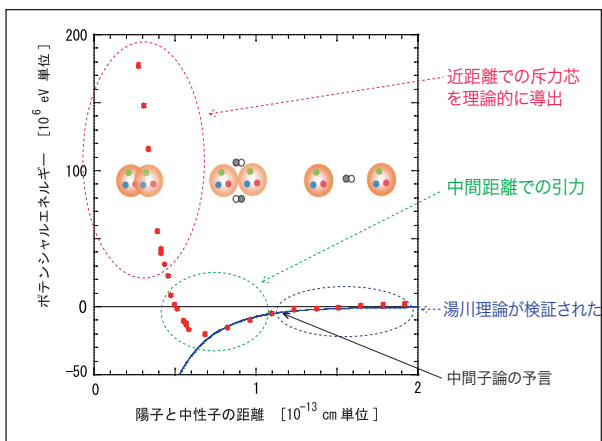
核力と呼ばれる力がある。原子の中心である原子核が、安定しているために必要と考えられてきた。

核物質の安定性解明へ

湯川博士は、核力の起源を中間子と呼ばれる粒子の受け渡しであると仮定した。この理論は、実験では正しいことが示された。

湯川理論検証に成功

物質を構成する最小単位である原子は、中心にある原子核とその周りを回る電子でできている。原子核は、正電荷を持つ陽子と電氣的に中性な中性子がいくつか集まって構成されている。



今回の研究で、核力を計算が複雑になりすぎたため、正しい結果を出せなかった。

核力ポテンシャルのグラフ。湯川理論ときれいに重なった

転類 2学類の勉強負担大

単位数の上限が不利 編入

開学当初から実施されている編入・転類制度。30年以上の歴史を経た今、どのような評価を得ているのだろうか。



編入の際には、前大学で取得した単位を、本学で開講している授業内容に近い単位に振り替える。

あまりに行き当たりばったりで、いま思い出しでもぞっとしない。学生時代は本当に気ままに過ごしていた。

しかし、編入試験は受験生にとって狭き門だ。募集は少なく、募集要項に「若干名」とだけ記載している大学も多い。

前大学で取得した単位数はたとえ編入しても変わらない。2年次編入した島村明子さん（社会学2年）は「外国語の単位が0.5不足して、1.5単位の授業をわざわざ受ける必要がある」と話す。

一方で、3年次編入した斉藤剛さん（情報3年）は「編入制度の単位振り替えは比較的柔軟」と語る。

立派に仕事をしているわけでもないが、少なくとも面白い人間を見つけておくべきという点では、学生時代と同じ興味で動いている。



仕事に生きる 人間観察 編集者 関田庸介さん

思いついたらまふらふらと過ごした学生時代だが、幸い現在の週刊誌の仕事にも、その時の関心がつながっていると思う。偉そうに語れるほど行けば、相手の懐に飛び

ず、今度は逆に転類するために取った単位が卒業要件に使えなくなってしまうこともあるからだ。また、転類前の学類の授業の評価が悪ければ、「授業についていけないから転類するのでは」と疑われてしまう。

ラ
ー
ト

A male athlete in a black tracksuit is performing a pull-up on a white bar. He is in the middle of the movement, with his arms fully extended and his body suspended. The background is a blurred indoor setting, likely a gym or sports hall.

A photograph of a theatrical performance on a stage. Several dancers in long, flowing, light-colored dresses are in various poses. In the center, a large, white, triangular prop is being manipulated by the dancers. The background is dark, and the stage floor is light blue.

福見初の学生世界一

延長の末宿敵に勝利

ユニバーシアード 外国人選手の変形技を克服

柔道

学生スポーツの国際大会である第24回ユニバーシアード競技大会の柔道競技

が、8月13―17日にかけてバンコクで開催された。本学からは福見友子(体専4年)が出場。決勝を得意の背負い投げで制し、初優勝

を果たした。「目標はもちろん優勝だった」という福見の初戦の相手は、今年2月、ドイツ国際決勝で、延長戦の末



決勝、得意の背負い投げで優勝を決めた(提供:共同通信社)

に効果一つの差で惜敗した。因縁の相手、ペイエットフランス。福見はこの初戦が決勝のつもりだったという。試合は一進一退となり、またも延長戦にもつれ込んだ。

前回のペイエットとの対戦では、外国人特有の変形の組み手に悩まされ、技がからなかったという。しかし、本学に出稽古に来た外国人選手相手に組み手を研究してきた福見は、冷静に相手の組み手に対応した。そして延長1分30秒が経過し、ペイエットの足が半端に出たところを逃さず、出足払いで有効。雪辱を果たした。

その後、3回戦を同じく出足払いで有効。準決勝を崩れ袈裟固めで一本勝ちし、決勝に進出。コンドラティバ(ロシア)と対戦し、見事一本勝ちをおさめ、優勝を果たした。

全日本学生優勝大会

東海大に敗れ3位

女子は去年の雪辱果たす

学生団体の日本一を決める全日本学生優勝大会が6月23―24日にかけて、日本武道館(東京・千代田区)

で開催された。本学は男女ともに準決勝で東海大学に敗れ、3位となった。

初日の女子団体戦、初戦で敗退した昨年の雪辱を誓う本学は、準々決勝で日本大学を判定の末に制し、準決勝に進出した。

先鋒は48キロ級の福見友子(体専4年)。今大会

変形の技くらいでは負けない。組んですぐかけられる、チャンス逃さず一本

2階級上の選手を相手に一本勝ちを重ねてきた。「女子主将として、みんなを引っ張っていくつもり」で

準決勝でも一本勝ち。続く藤田康恵(同2年)は引き分け。柏木由香(同4年)

が一本負け、佐藤晴香(同2年)が優勢勝ちとなった。2―1で迎えた大将戦、全日本女子選手権出場者の中山彩香(同3年)が全

日本体重別2位の立山真衣と対戦した。開始1分4秒、払い腰で一本負けし、2―

2。一本の数など、内容で劣る本学が逆転負けを喫した。東海大女子は決勝も制し、優勝を果たした。

結果について、福見主将は「昨年の悔しい思いをバネに、みんなを出し切れ

た。来年も、小さい選手でも大きい相手に勝てるというのを証明してほしい」と、後輩に思いを託した。

翌日行われた男子団体戦、本学は準決勝に東海大を迎えた。「接戦に持ち込めると思ったが、ふたを開ければ地方の差がでた」と

男子主将の秋本啓之(同4年)。先鋒の高田薫蔵(同2年)、次鋒の新井優来(同

1年)が引き分けたあと、3人が立て続けに一本負けし、大将戦を待たずして本学男子の負けが決まった。結果について秋本は「層の厚さなどからくる地方土壇場のねばりなど、課題は多い」と語った。

岡田弘隆監督(体育・准教授)は「男子準決勝では4年生を後ろに集めたが、裏目に出たようだ。女子は良い成績を残せた。団体戦はチーム力がものをいう。今後、主要レギュラーが試合へ向けてレベルを上げるかが課題だ」と語った。

男子準決勝の大将戦で

全国国公立大学選手権 団体優勝果たす

水泳



第54回全国国公立大学選手権水泳競技大会が、8月8、9の両日に神戸市ポートアイランドスポーツセンターで行われた。本学からは38人が出場した。男子は100メートルバタフライ以外の14種目で優勝し、団体優勝を果たした。800メートル

は、第83回日本学生選手権水泳競技大会(インカレ)が行われる。

たのだから分析する。普段小林はおとなしく、感情を表に出すタイプではない。しかし、試合では人が変わるほどの集中力を見せる。大きな大会になればなるほど、レースに集中することができるといふ。

そんな小林の課題は、スタートだ。50メートル自由形でスタートが勝敗を大きく左右する。「スタートの技術を磨けば、長水路で23秒のベストタイムを22秒7まで縮めることができる」と白木コーチは期待を寄せる。

優勝しても自己ベストが出て、嬉しいと思うことはあったにないという。目標はもっと高いところにあるからだ。「水泳の魅力は、自分の限界に挑戦していくところにある。50メートル自由型に関しては、スタートも泳ぎも全て完璧を目指したい」と意欲的に語った。(本紙・馬野裕子「社会

第41回全日本女子学生剣道選手権

佐久間2連覇を達成

高山がベスト8に

剣道



女子学生剣道の個人日本一を決める第41回全日本女子学生剣道選手権大会が

7月7、8の両日、大阪府立体育会館(大阪市浪速区)で開催され、各地区予選を勝ち抜いた80人が出場した。本学からは8人が出場し、佐久間陽子(体専4年)が2連覇を達成した。また、高山智美(同3年)がベスト8、袖崎舞(同4

年)、山崎みゆき(同4年)、小松澤映吏子(同3年)がベスト16となった。

決勝で佐久間が対戦したのは、インターハイ個人2連覇の経歴を持つ鹿野体育大の大里文野。佐久間と大里は高校時代に一度公式戦で対戦しており、その時は佐久間が敗北した。今回の雪辱戦に佐久間は、「勝つ」という強い気持ちで挑んだという。

試合は両者とも決め手を

欠き、延長戦に突入した。延長4分過ぎ、佐久間は大里が引いて中途半端に前に出たところを逃さず、思ひ切り飛び込んで面を決めた。佐久間本人も上達したと考える、面を中心とした組み立てができていた。佐久間は2連覇の感想を「嬉しいの一言です」と話した。大会全体の関して有田監督は「各選手の長所短所がよく現れた大会だった。結果はともかく全力を尽くしたと思う」と語った。

9月22日に開かれる第33回関東女子学生剣道優勝大会に向けては、部全体で大会に挑めるよう、まとまっていく意気込みだ。佐久間は「団体でも日本一を目指して頑張る」と意欲的。有田監督は「切磋琢磨、追い

つけないで、人間的にも剣道的にも刺激あっている」と選手達を激励した。

田監督は「切磋琢磨、追いつけないで、人間的にも剣道的にも刺激あっている」と選手達を激励した。

男子学生剣道の個人日本一を決める第55回全日本剣道選手権大会が7月7、8の両日、大阪府立体育会館(大阪市浪速区)で開催され、各地区予選を勝ち抜いた176人が出場した。本学からは吉田将志(体専4年)と高橋健(同3年)の

2人が出場し、吉田がベスト8の好成績を残した。吉田は結果について「優勝ではないので満足はできないが、実力を出し切った結果だ」と、悔しさをにじませながらも納得した様子だった。

全日本学生選手権

吉田がベスト8

男子学生剣道の個人日本一を決める第55回全日本剣道選手権大会が7月7、8の両日、大阪府立体育会館(大阪市浪速区)で開催され、各地区予選を勝ち抜いた176人が出場した。本学からは吉田将志(体専4年)と高橋健(同3年)の

2人が出場し、吉田がベスト8の好成績を残した。吉田は結果について「優勝ではないので満足はできないが、実力を出し切った結果だ」と、悔しさをにじませながらも納得した様子だった。

9月16日の第56回関東学生剣道優勝大会について吉田は「必ず優勝して学生剣道に幕を閉じたい」と固い決意を口にした。



今年4月に行われた日本選手権大会で小林拓矢(体専1年)は、50メートル自由形で4位に入賞した。同大会予選で記録した23秒は、今年度前期の日本ランキング2位のタイムだ。現在は、インカレ優勝と北京オリンピック出場に向けて練習に励んでいる。

小林が親の勧めで水泳を始めたのは、小学校2年生の時だ。翌年には、スイミングスクールの選手コースに入り、全国大会にも出場した。そのころから、専門種目は自由形。一番得意な種目だったという。しかし、受験勉強に専念するため、小学校5年生の時に水泳をやめた。兄も進学校に通っていたため、受験は自然な流れだった。



異色の経歴持つスイマー

小林拓矢(体専1年)

な中で、都大会で決勝に進出することができ、自分の泳ぎに手応えを感じたという。しかし、受験勉強に専念するため、小学校5年生の時に水泳をやめた。兄も進学校に通っていたため、受験は自然な流れだった。

天性のスプリンター

(本紙・馬野裕子「社会

本学のマスコミ団体

今年7月、25年の歴史を持つ「筑波学生新聞」が休刊した。部員不足が原因で、復刊のめどは今のところ立っていない。

本学には大学公認団体と学外団体合わせて、学生によるマスコミ団体が多数存在する。その中で、紙媒体を利用するマスコミ団体の現状を追った。

◆深刻な部員不足
学生新聞は1982年、当時の大学新聞の部

員が、よりの自由な立場から記事を書きたいと考え、創刊した。編集や運営などすべてを学生が行い、大学などの支援を受けず、広告収入と売り上げだけで経費をまかなってきた。全盛期には1万5000部の発行部数を誇り、静脈認証システムなど本学の問題を学生の視点を重視して報道してきた。

しかし、近年は常に部員不足に悩まされていた。もともと仕事量が多い上に、学外団体であるため知名度も低かった。そのため入部する人が少なくなるという悪循環に陥ったという。



学生の目を引くテーマが並ぶ。また、3人で活動し

宇宙工学研究

国際大会で4位入賞

ロケット研究で日本人初

宇宙工学研究会に所属する工藤祐介さん(自然4年)、五賀友継さん(工シ3年)、今福成徳さん(工基礎2年)らの、ロケットについての研究をまとめた活動論文「eXperimental Micro solid fuel Rocket」が、7月に北京で開催されたHeinlein Prizeにおいて、第4位にあたるExcellent Prizeを受賞した。

この賞は2005年に新

ズームアップ

本学生向けの生活情報誌「JAMJAM」を発行している。毎号1500部発行し、秋のアップデートがうらやましいと話す。

「学外団体の良いところば、バカなことがやれるところ」と代表の三宅合さん(社学3年)は話す。カラオケ巡りをしたり、ヘアサロンの人たちと一緒に学内で鬼ごっこをして特集するといった

部員の道本久美子さん(芸専2年)は「みんな

自由と制約の中での報道

楽しさ超えた存在意義を

「バカ企画」は、大学公認団体ではない。活動の楽しさを掛け持ちのしやすさから、現在メンバーは16人おり、人手不足の問題はないという。

◆楽しさを追求
学外団体として楽しさを追求し、長年続いているマスコミ団体もある。「JAMJAM HOUSE」は83年から年2回、

いる。「公認団体は、営業に時間をとられず、学内取材もしやすいところがある」と話す。

◆公認団体の制約

一方、公認団体は「何でもできる」わけではなく、学生のためになる報道を模索している。

「キャンパス」は全学学類・専門学群代表者会議(全代会)の広報委員会が発行する全代会の広

報誌だ。85

年から年7回、毎号1000部

発行してい

の情報だけでなく、「学生にとって有益な情報」の提供も目指し、アカデミックハラスメントや本学のバリエーションなどを特集してきた。

しかし04年には、「土浦花火特集」や、一般企業に取材した特集「資格から入る就職へのアプローチ」などが、個人の利益が関わることで大学

側に差し止められたこともあった。その後チェック体制を強化し、問題は起こらなくなったという。

◆見失う意義

学外団体と公認団体では、経済的安定や自由度などに違いがある。しかし、どの団体も活動を続ける一

番の理由として「みんな一つのものを作り上げる楽しさ」を挙げる。その中で見失いがちなのが「その団体だからこそのこと」だ。キャンパス編集長の古

田島知則さん(生物3年)は「制約はあっても、自分の努力が形として残るのは楽しい。けれど、全代会の広報以外でキャンパスでしかできないことは何だろう」と話す。三宅さんも「外

には一般誌、学内には大学新聞などがあり、どの路線でいくべきか悩むという。学生新聞が休刊という転機を迎えた今、マスコミ団体に自己満足の「楽しさ」を超えた「存在意義の自

覚が求められている。(本紙・鈴木真理「社会学類」)

まず着目したのは、ロケットの外装に使われていた鉄板。これを、軽量で安価なポリ塩化ビニルに代えることにより、大幅なコストダウンに成功した。塩ビは熱により軟化するため、発射時の圧力による爆発の危険もなくなった。また、ロケットの先端部分に断熱材

を使用。胴体部分の内側にはコーティングを施し、塩ビ素材が溶けるのを防止した。

また、これまで使用していた火柴の代わりに、酸素とエタノールを注ぎ足すだけでロケットを繰り返し使用することができるようになった。ロケットも新たに開発した。



発射台に設置されたロケット
(提供=宇宙工学研究会)

が、「自信を持って自分た

本学の防犯を考える「セーフティプロジェクト」(座長=吉武博通副学長、総務・企画担当)では、非常時の緊急連絡や、地域の防犯情報(配布を目的とした、全学が「クラスで使っているM」を利用して「M」と提案したことからはじまった。学生生活課は技術的には可能だとしているが、全代会などからは全学生を大学が作るMに加入させることについて「脱管理の流れに逆行していないか」「新入生にはオリエンテーションで説明することとして、在学生はどう参加させるのか」といった意見が出された。大学による学生の個人情報管理方法については、今後の検討課題となる。

セーフティプロジェクト
防犯M Lの作成を検討

個人情報管理の問題も

「各国から研究室単位で出場していた中、大学のサークル活動の一環として参

加したチームは私たちが「私たちの研究の実用性を評価してくれたのだと思う。これを良い機会として、もっと上を目指したい」と次の研究への意欲を見せた。

「各国から研究室単位で出場していた中、大学のサークル活動の一環として参

加したチームは私たちが「私たちの研究の実用性を評価してくれたのだと思う。これを良い機会として、もっと上を目指したい」と次の研究への意欲を見せた。

ザヤさんを救う会
9月中に移植手術
術後の治療費集める

本学で言語学を研究している、シヤグダル・パドラル・ザヤさん(モンゴル

「染合君ってサークル活動、何やってるの?」筑波大学で聞かれたことがない人はいないであろうこの質問。当然私も1年生から何度も受けた。そこで「ボランティア活動」って答えると、決まって返ってくる答えが「へー、すごい。偉いね」。でも、ボランティアって本当にすごいこと、

私は週5日とか部活で汗を流している人の方がよっぽど「すごい!」と思う。暑い日も、寒い日も、たがむしやりに体を動かす。しかもそれで試合に出られるのは、握りの人だったりする。バンドとかもいっぱい練習しなきゃいけないし、本当に上手くなるのはほんの一部だったりする。

本当は身近なボランティア

「ボランティア」という字面は確かに硬い。でも「何かやってみようかな」という気持ちは、確かに誰もが持っているものだと思う。あなたの持っている「何かやってみようかな」という気持ち、これからの大学生活で大事にしてみたいかがだろうか。(筑波大学学生ボランティアセンター ぴららOB・染合君「生物学類4年」)

学生論壇
社会への声

そんな「偉いこ

「ボランティア」という字面は確かに硬い。でも「何かやってみようかな」という気持ちは、確かに誰もが持っているものだと思う。あなたの持っている「何かやってみようかな」という気持ち、これからの大学生活で大事にしてみたいかがだろうか。(筑波大学学生ボランティアセンター ぴららOB・染合君「生物学類4年」)

根本的な治療のため、ザヤさんは9月中旬に生体腎移植手術を受ける予定だ。健康保険に加入しているため、手術料自体はさほどかからないが、術後のリハビリ費用や、移植腎を機能させるための一生飲み続けなければならない抗生物質の費用などがかる。ザヤさんがモンゴルでこの抗生物質を服用する場合、1日分5000円かかるという。ザヤさんを救う会では、移植腎が15年しかもたない

1学期末卒業式
121人が巣立つ

平成19年度1学期末卒業式および大学院学位授与式(7月期)が7月25日に大学会館特別会議室で行われた。23人の学群生が卒業し、98人の院生が課程を修了。または学位を授与された。大学院修士者および学位生全員と、院生18人が出席した。

また、平成19年度第2学期入学式が8月8日、大学会館特別会議室で行われた。23人の学群生と60人の院生が入学し、式には学群生全員と、院生18人が出席した。

また、平成19年度第2学期入学式が8月8日、大学会館特別会議室で行われた。23人の学群生と60人の院生が入学し、式には学群生全員と、院生18人が出席した。

3A棟改修工事

食堂利用者2000人に影響

各業者 他の棟での臨時販売へ

耐震補強などのための3A棟改修工事が6月29日から始まり、福利厚生施設の休業など、学生生活に影響が出ている。3A棟にある各食堂の1日の利用者数は約2000人と見積もられ、工事が終わる12月までの間、ほぼ同数が「昼食難民」化することが予想される。この問題に食堂業務に参入している各業者では、

臨時の弁当販売所を設置するなどして対応している。3A棟で喫茶店舗やコンビニを展開している井上フード(本社・茨城県下妻市)では、2B棟1階にある「粉とクリーム」のパン販売所の横で、カレー弁当やサラダなどを販売している。午前10時半～午後一時半まで営業しており、カレーにソーセージや唐揚げなどをトッピングしたり、辛さを足せるなどのサービスも行っている。このスペースにはテーブルや椅子も設置されており、買った弁当をその場で食べることができる。カレー店で弁当を買った男性(基礎4年)は「カ



現在の3学喫茶。1日190人が利用していた

夏休休暇中に、大きな騒音を伴う解体・撤去作業を行い、本格的な耐震補強の工事は10月から始める。すでに1E棟の北側に施されたような、壁の窓枠に鉄骨の枠をはめ込んで耐震性を高める工事や、柱や壁に炭素繊維を巻き込んで、地震時のコンクリートの崩壊を防止する工事などを行う。

これにより、阪神大震災を機に設定された構造耐震指標が0.3(マグニチュード7クラスの地震の際、大破の恐れ)から0.7(同、小破以下)まで向上する予定だ。

施設整備課の小泉芳朗課長によると、エレベーターも低い位置にボタンを設置するなど、障害者に対応させるという。

「受験生のための大学説明会」が8月1～3日の3日間開催され、昨年より450人多い9369人が参加した。

当日は、各学類・専門学群とも模擬講義や模擬実験、在学生による体験談などを盛り込み、特色をアピールした。

生物資源学類の説明会では、模擬講義が行われた。加藤衛弘教授(国地)は「人と自然が織りなす環境美―その史的考察―」をテーマに講義をした。会場の総合研究棟A棟公開講義室には200人を超える受験生が集まった。埼玉県から参加した高校3年生の女子は「身近な話題だったのでよかった。すぐ説明がわか

りやすかったと話した。芸術専門学群は、施設見学を行った。参加者は、真剣な表情で彫刻の作業コーナーや加工室などの施設を見学したと語った。

千葉県から参加した男子は「実際に工場の学を行った。参加者は、真剣な表情で彫刻の作業コーナーや加工室などの施設を見学したと語った。

酒類販売、賛成が多数派

未成年への販売懸念も

学内に展開しているホットスパ(本社・土浦市)の業務改善のために、昨年3月に全学学類・専門学群代表者会議(学代会)生活環境委員会厚生会班が学群1年生を対象に行ったアンケート結果が、7月11日の厚生会理事会で公表され

と、酒類販売に賛成する意見としては、「どうせお酒は飲むイベントの際にニーズがあるのでは」といった意見があった。また反対意見としては、「未成年者のいる場で売るべきではない」「年齢確認でトラブルが発生するのでは」といった意見が出された。

「反対」を「どちらかといえば反対」を2、「どちらかといえば賛成」を3、「賛成」を4として平均値をとると、2.882(平均値2.5)となり、賛否の差が僅かであることが分かる。これに対して厚生会理事會に参加した学生、教職員からは「毎年急性アルコール中毒が多発している現状を考慮すべき」「成人が多い超越でなら販売を許可するなど酒類の販売を一律適用すべきでない」といった意見が出された。

また、たばこ販売については、「ゴミが増える」「環境に悪い」など否定的な意見が多数を占めた。

酒類販売に関しては、次の厚生会理事會から、本格的に議論を始める。ホットスパの堀口悦弘営業企画部長は、今回のアンケート結果を踏まえ、酒類販売について「嗜好(しこう)品なのでニーズはあると思

う。大学での営業状況は厳しいのでぜひ販売したい」と語った。

留学生センター

日本語補講を充実へ

定員超過で増設も検討

留学生センターでは、1学期に開設した日本語補講の一部でクラスの人数が定員を大幅に超過し、受講者数の調整のため、抽選を行った。大学法人化に伴う経費削減の流れの中で、授

業数を減らしたことによるもので、2学期以降は全員が受講できるようにする方針だ。

留学生センター(前身は留学生教育センター)では、補講は初級から上級の7レベルに分かれているが、

それ以外に、日本語研修生(国費留学生)、日韓共同理工系学部留学生、学群留学生などを対象としたクラスも開講。合計で1週間に30クラス、11コマを開講し、専任教員8人、非常勤講師14人が担当している。今回抽選を行った作文や会話の授業では、少人数教育を重視し、授業外に発音の矯正を行うなどしている

と語った。

その背景には、交換留学生を対象にした「筑波大学短期留学国際プログラム(JITP)」など英語によるプログラムの導入がある。教員とのやりとりは英語で済むことも多いが、日常的なコミュニケーションには日本語が必要になる。

留学生センターの日本語補講も主に大学院レベルの学生を対象としている。しかし、出欠は自由であるため、専門の勉強を優先し、出席しなくなる学生が15人のクラスで2、3人いるという。西村教授は「本学の国際連携ポリシーの関係上、今後、海外拠点やその周辺国からの留学生も増える。大学全体として留学生教育を見直す必要があるだろう」と語った。

本学は今年5月現在1221人の留学生を受け入れており、その8割が大学院レベルの学生だ。以前は日本語を勉強してくる留学生が大半だったが、数年前からほとんど勉強してこない学生が増え、毎学期20人前後いるという。

留学生センターでは、1学期に開設した日本語補講の一部でクラスの人数が定員を大幅に超過し、受講者数の調整のため、抽選を行った。大学法人化に伴う経費削減の流れの中で、授



留学生センターでは、1学期に開設した日本語補講の一部でクラスの人数が定員を大幅に超過し、受講者数の調整のため、抽選を行った。大学法人化に伴う経費削減の流れの中で、授

業数を減らしたことによるもので、2学期以降は全員が受講できるようにする方針だ。

留学生センター(前身は留学生教育センター)では、補講は初級から上級の7レベルに分かれているが、

それ以外に、日本語研修生(国費留学生)、日韓共同理工系学部留学生、学群留学生などを対象としたクラスも開講。合計で1週間に30クラス、11コマを開講し、専任教員8人、非常勤講師14人が担当している。今回抽選を行った作文や会話の授業では、少人数教育を重視し、授業外に発音の矯正を行うなどしている

と語った。

その背景には、交換留学生を対象にした「筑波大学短期留学国際プログラム(JITP)」など英語によるプログラムの導入がある。教員とのやりとりは英語で済むことも多いが、日常的なコミュニケーションには日本語が必要になる。

留学生センターの日本語補講も主に大学院レベルの学生を対象としている。しかし、出欠は自由であるため、専門の勉強を優先し、出席しなくなる学生が15人のクラスで2、3人いるという。西村教授は「本学の国際連携ポリシーの関係上、今後、海外拠点やその周辺国からの留学生も増える。大学全体として留学生教育を見直す必要があるだろう」と語った。



バレエの魅力は言葉を使わないところにある。踊りや衣装などにより構成される舞台芸術だ。エトワールではそれらすべてを自分たちの手でつくっている。

エトワールは、本学唯一のクラシックバレエサークルだ。現在メンバーは25人。週3回、春日キャンパスの教室で練習している。

バレエはつま先立ちなど基本動作を身につけることが難しく、初心者の場合2年ほどかかる。体の構造から考えるなど不自然な体勢が多いからだ。基本の動きができるだけではなく、それを自然に美しく見せなければならぬ。練習では音楽にあわせて脚を



手作りのバレエで舞台へ

(入社3年)は、校内でバレエの練習がしたいと思ひ、01年にバレエ経験者の友人5人と共にサークルを立ち上げた。クラシックバレエはお稽古事のイメージが強く、日本ではサークル数が少ない。サークルはあっても、初心者からバレエを始めることは難しい。初公演は「それまで公演成功のためワンマンでやってきた。そのことに戸惑いもあった」と城本さんが振り返るように苦労も多かった。観客は少なかったが、自分たちの力で舞台を作り上げた達成感は大かった。

エトワールは現在年に2回、5月と10月に公演を行っている。「踊るだけならエクササイズと同じ。公演を通してバレエは見せるためにあるのだと気付いた」と城本さんは語る。初心者からバレエ歴18年の経験者まで、レベルも経験も人それぞれだ。だからこそ自分たち独自のバレエができるのだろう。(本紙・馬野裕子=社会学類)

エトワール

練習では音楽にあわせて脚を

エトワールは、本学唯一のクラシックバレエサークルだ。現在メンバーは25人。週3回、春日キャンパスの教室で練習している。

バレエはつま先立ちなど基本動作を身につけることが難しく、初心者の場合2年ほどかかる。体の構造から考えるなど不自然な体勢が多いからだ。基本の動きができるだけではなく、それを自然に美しく見せなければならぬ。練習では音楽にあわせて脚を

エトワールは、本学唯一のクラシックバレエサークルだ。現在メンバーは25人。週3回、春日キャンパスの教室で練習している。

バレエはつま先立ちなど基本動作を身につけることが難しく、初心者の場合2年ほどかかる。体の構造から考えるなど不自然な体勢が多いからだ。基本の動きができるだけではなく、それを自然に美しく見せなければならぬ。練習では音楽にあわせて脚を

第 31 回雙峰祭

今年の日玉企画

「雙峰っ娘純情☆」

第31回雙峰祭が10月6〜8日の3日間開催される。今回のテーマは『新』筑波世代。今ここにいる私たちが、新しいつばを創っていく「新」筑波世代なのだという思いが込められている。

学園祭実行委員会主催の本部企画では、7日に本学前学長の北原保雄先生が、

8日にロボットスーツ「HAL」の開発者の山海嘉之教授が講演会を行う。また、7日の「新世代アイスカッショーン」ではベンチャー企業に務める方を招き、グループで一つのアイデアを練り上げていく試みを体験できる。

☆では、美しさだけでなく、知性・体力・ユーモアを兼ね備えた雙峰娘を決定する「IQすっきりや」や「あの娘にとっきゅん」といったユニークな審査をする。その他の企画も、「のみの市」(全日)、「なぞ解きぱたんて・スタンブラー」(全日)、「受験生応援企画」(全日)、「たからさがし」(6日7日)、「コラボレーション☆TSUKUBA」(8日)、「後夜祭」(8日)と盛りだくさんだ。

福祉系イベント

福祉系イベントが雙峰祭期間中に開催される。

◆屋内企画「福祉・医療のひろば」

10月6〜8日の3日間、1E201で。冊子の配布やサークルポスターの掲示による福祉・医療系各サークルの紹介、つくば市の福祉施設やボランティア・NPO団体の所

在地を示した「つくば福祉マップ」の展示などを行う。8日正午からは美演「救命救急」―AEDによる心肺蘇生法―を行う。

◆屋外企画「模擬店」[福祉・医療のやたい]

10月6・7日、1D棟前で、クレープの販売を行う。お詫び 紙媒体で同欄に掲載した「福祉フォーラム」は、昨年行われたイベントの誤りでした。

天上大風

伝統系サークルが発表

伝統文化系サークルが日ごろの活動の成果を発表する第13回天上大風(主催)芸術系サークル連合会が、9月23日午後1時から午後5時半まで、開学記念館で開催される。

今回の参加団体は、津軽三味線倶楽部無絃琴や茶道部、池坊華道部など計7団体。

広告

新人記者急募

編集部では、新人記者を募集しています。企画の立ち上げから取材、撮影、執筆、編集まですべて学生の手に任せています。

初心者の方でも大丈夫。マスコミに興味のある方、人と話すのが好きな方、パソコンが得意な方、ぜひ一度編集室にお越し下さい。編集会議は毎週月曜日午後

次号は

10月15日(月)

発行予定です

筑波自然図鑑

◇ハス◇



夏休み、水草の花を見ようと茨城大池行くと、ハスの花が咲いていた。ハスの花は群れて咲くよりもまばらに咲いている方がよいように思う。その方が、大きく、色もきれいな花が引き立つ。

ところで、ハスは泥水のような場所に清い花を咲かせるため、仏教では極楽浄土の象徴とされてきた。俗世においても清らかな身を保つことの象徴とされた。確かに、人の目から見ると汚い泥水から清らかな大きな花が咲けば、誰でも感動する。多分、ハスは汚いところであるのに、ではなく、汚いところだからこそ、清らかな花を咲かせるのだろう。

(写真・文)田中弘毅、生物3年へ野生動物研究会

催事

講演会

◆桜井進先生講演会「ジョーネイピア対数誕生物語」

10月6日から8日にかけて開催される雙峰祭中の7日に、テレビ番組「たけしの誰でもピカソ」などに出演している桜井進先生の講演が開かれる。

10月7日午後1時から、1D201で。題目は「ジョーネイピア対数誕生物語」

演奏会

◆筑波大学管弦楽団第62回記念定期演奏会

10月13日、つくばセンタビルノバホールで。午後1時15分会場、午後2時開演。入場料はS席が1200円、A席が1000円。指揮者は小田野宏之さん。

スポーツ・デー

◆第31回秋季スポーツ・デー

10月20日、21日に開催されるサッカー、キックベース、バドミントン、バレーボール、駅伝、ソフトテニス、SD選手権の7種目。申込用紙の配布は9月3日

吉田 翔 さん (生物1年)

国際学生科学技術フェアで受賞

1メキシコ州で行われた科学のオリンピック「国際学生科学技術フェア」で、吉田さんは材料・バイオ工部門4等賞を受賞した(本紙6月号に記事掲載)。

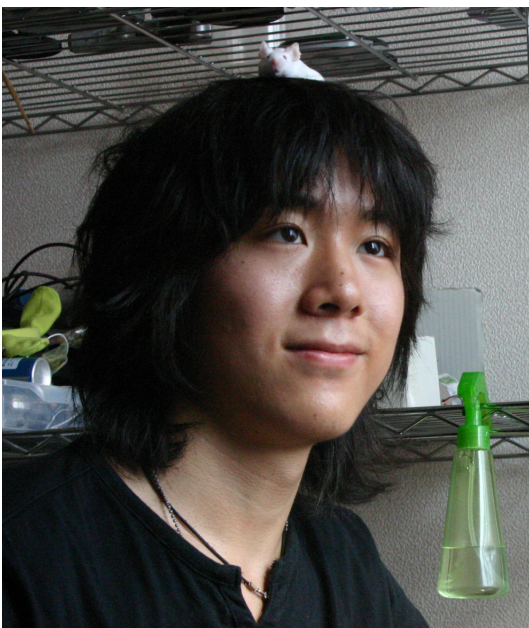
自室は生き物達でいっぱい

た。プログラムではなく生物の知性がロボットを制御する。真の知能を持つロボットへ一歩近づいていく。

世界動かすロボット開発へ

高校2年の秋、吉田さんは初めて研究発表で海外を訪れた。タイで行われた「インターナショナルサイエンスフェア」に先輩の研究チームの一員として参加したのだ。その時知り合ったタイの友人との会話がとても楽しく、「海外に行くのも迷うことじゃないな」と感じたという。この時から積極的に海外へ行った。タイ、オーストラリア、韓国へ行って研究発表をするうちに、次第に海外

Who's Who?



頭にネズミを乗せ夢を語る吉田さん(自撮り)

たユニークな審査をする。その他の企画も、「のみの市」(全日)、「なぞ解きぱたんて・スタンブラー」(全日)、「受験生応援企画」(全日)、「たからさがし」(6日7日)、「コラボレーション☆TSUKUBA」(8日)、「後夜祭」(8日)と盛りだくさんだ。

募集しています。企画の立ち上げから取材、撮影、執筆、編集まですべて学生の手に任せています。

初心者の方でも大丈夫。マスコミに興味のある方、人と話すのが好きな方、パソコンが得意な方、ぜひ一度編集室にお越し下さい。編集会議は毎週月曜日午後

大学会館書籍部ベストセラー

1	女性の品格	坂東眞理子/PHP研究所
2	精霊の守り人	上橋菜穂子/新潮社
3	楽園(上)	宮部みゆき/文藝春秋
4	生物と無生物のあいだ	福岡伸一/講談社
5	楽園(下)	宮部みゆき/文藝春秋
6	闇の守り人	上橋菜穂子/新潮社
7	グラスホッパー	伊坂幸太郎/角川書店
8	夜明けの街で	東野圭吾/角川書店
9	アサッテの人	諏訪哲史/講談社
10	犬と私の10の約束	川口晴/文藝春秋

8月の1位は、6月に引き続き坂東眞理子の「女性の品格」。9位は、諏訪哲史の第37回芥川賞受賞作品「アサッテの人」。一人の男が、妻に先立たれて失踪した叔父の日記を手がかりに、言葉と世界の関係について思索する。

催事は、みずす書房フェア(15%オフ、28日まで)、Oxfordブックフォームペンギンフェア(10%オフ、29日まで)。